

誰もがいきいきと暮らせる社会の実現をめざして

丹波市男女共同参画推進条例ができました

男女共同参画社会とは、職場や家庭、地域などあらゆる場で、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会のことをいいます。“男性とはこういうもの”、“女性とはこうあるべき”など性別によって行動や生き方を制限されることなく、共に責任を担う社会をめざしていきましょう。

◎ チェックしてみましょう！



家庭では

家事・子育て・介護など、家族みんなが役割分担して、協力し合っていますか？

☐

職場では

男女がそれぞれの能力と個性を発揮しながら、いきいきと働き、また自分の生活も楽しんでいますか？

☐


学校では

進学や就職などで、性別にかかわらず個人の意思や能力を尊重した選択ができていますか？

☐

地域では

地域活動に無理なく楽しく参加でき、まちづくりに多様な意見が反映され、暮らしやすい地域になっていますか？

☐


◎ 丹波市男女共同参画推進条例の基本的な考え方を確認しましょう

- ①性別による差別的扱いを受けることなく、個人としての人権が尊重されるようにしていきましょう。
- ②社会制度や慣行が個人の自由な選択に影響を及ぼさないようにしていきましょう。
- ③さまざまな分野で方針の立案・決定に、男女が共同して参画できるようにしていきましょう。

- ④家庭生活と地域や職場などでの活動とを両立できるようにしていきましょう。
- ⑤男女が互いの性に対する理解を深め、生涯にわたり健康な生活ができるようにしていきましょう。
- ⑥男女共同参画を推進するための活動に、自発的・自主的に、協働して取り組みましょう。
- ⑦国際的な取り組みと連携・協力して推進しましょう。

10月にオープン予定！

男女共同参画センター

今年10月、男女共同参画社会の実現をめざして、ゆめタウン内に、「男女共同参画センター」を開設します。新たなチャレンジやいきいきとした暮らしのために、様々な支援と応援をします。ぜひご利用ください。詳細は今後の広報紙等でお知らせします。

団体活動を
充実させたい！

悩みや問題を
解決したい・・・

情報が
ほしい



問 人権啓発センター（氷上住民センター内） ☎ 82 - 0242

企業・事業所の皆さんへ



人権学習会の開催を支援します

人権が尊重される職場づくりや企業活動を推進するため、企業・事業所が自主的に開催する人権学習に講師を派遣します。

■対象 / 市内の企業・事業所で開催される、参加人数がおおむね10人以上の人権学習会

■申込方法 / 開催日の4週間前までに、所定の申込用紙を提出。FAX受付可。

■そのほか / 旅費を含む講師謝金は市が負担します。

丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

農業を学び 新たな担い手となる

と^きみつる 土岐 満さん vol.30

経歴：神戸市出身。半農半公の地域おこし協力隊1期生として、主ににんにくの栽培に取り組む。

任期：平成28年11月～



丹波市に移り住んで2年と半年が過ぎ、毎日畑で汗を流す生活が続いています。

一年の季節の移り変わりに気持ちを寄せ、雨や雪に一喜一憂する日々の中、自然と向き合い生活することが、本来の人間の姿なのかなと思うようになりました。

まもなく2回目のにんにくの収穫が近づいています。まだ栽培2年目ではありますが、毎日にんにくに向き合っていて気づくこと、新しく発見することも多く、たくさんのにんにく栽培者の方が圃場を訪れ、私の経験からお教えできることを伝えさせていただいています。にんにくは現在のところ順調で、去年の失敗を踏まえて様々な対策を行っており、今年はいくぶん出荷までいければと思っています。

あと4カ月で地域おこし協力隊の任期も終わり、いよいよ農家として自立していかなくてはなりません。多くの丹波の方々に見守られ、助けられてここまで来られました。協力隊の活動で得た経験を生かして頑張っていきますので、丹波市のみなさん、これからもよろしくお願いします！



にんにくの生育状況を確認する土岐隊員

市長コラム 丹波語り

少し感動した話



私は毎年5月ごろ、新規採用職員と昼食をとりながら雑談をすることになっています。内容は実に他愛のないもの。例えば「ゴールデンウィークは何をして過ごしていたの?」「趣味は?」に始まり、少し突っ込んで「就職して1ヶ月間の感想は?」「上司や同僚とのコミュニケーションはとれていますか?」などなど・・・

人は話し合うことがなければ、基本的に「警戒心」を持つものです。普段難しい顔をしていても、話をすれば意外に通じ合えるものがある、なんてことはよくあることです。

雑談の中である女子職員から、こんな発言がありました。『彼女がいるから市役所に行つて相談してみたい』と言われる職員になりたい!!

1年目にして、「市民により

近い距離で、悩みを一緒に共有しよう」というその前向きな姿勢に、「うーん」と唸りました。

私も就任直後に「めざしましょう!五つ星市役所」と宣言しました。きっかけは、前職がホテル経営であったこと、また毎朝、氷上中学校の生徒さんから例外なく「おはようございませす!!」と元気な挨拶をもらっていたことで、会話やあいさつで人と人が通じ合うことの大切さを再確認したからでした。

今年は元旦メッセージの中で「あいさつ運動」を呼びかけました。市民の方々との信頼関係は「明るい笑顔と心寄り添う対応」から築かれていくのでしよう。これからも五つ星市役所を目指していきます!



辞令交付式で宣誓書を読み上げる新規採用職員

丹波市長谷口進一